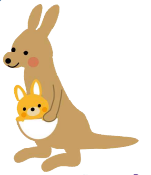




だっこ通信

第4号

2020. 11月発行



だ いじょうぶ・つ ながる・こ そだて



あるある話「ダンゴムシとの出会い」



石の下や落ち葉の陰にいるダンゴムシ。子どもってよく見つけますよね。黒っぽくてコロッとしているので、可愛いと感じる人もいるし、虫は苦手という人もいると思いますが……。公園や道端で「ねえママ、これ何？」って言いながら、子どもがダンゴムシを触ろうとしていたら、さあ、なんて声をかけますか？

まあ、かわいいね。
よく見つけたね。

(*^^*) A

あら、ダンゴムシ。
さわってごらん。

(*^^*) B

さわっちゃダメ！
ママは虫が嫌いなもの。

(>_<) C

A : ダンゴムシ は **こわくない** ……だいじょうぶ。安全。怖くない。

B : ダンゴムシ は **さわってもOK** ……おもしろそう。さわってみたい。どんな感じ？

C : ダンゴムシ は **さわってはダメ** ……虫は怖い。ママは虫が嫌い。虫は人類の敵？

大人だって苦手なものがありますし、「虫は嫌い」というママもいるかと思いますが、子どもが初めてダンゴムシに遭遇したとき、興味が無ければそのまま見向きもしません。スルーしますよね。興味をもったということは、「知りたい、さわってみたい」「どんな感じ？何ていう名前？」などの好奇心が刺激されたのだと思います。子どもの興味や探究心は、日常のちょっとしたことがきっかけで芽を出し、伸びていくかもしれません。

★本日のお題

興味をもったことが才能につながっていく

何かを見つけたとき、「これ、何？」と言ってきたら、それはその子の才能につながっていく「何か」かもしれません。好奇心はふとした瞬間に芽を出し、伸びるきっかけを待っています。子どもが興味をもつ・好きになるということは、その子の得意なことにつながっていくと思います。

発行者：さくら市生涯学習課（担当 鈴木）